

令和元年度

教育委員会定例会
(12月)

令和元年12月4日(水)

鹿屋市教育委員会

会議日程

日時 令和元年12月4日(水) 午後3時
場所 教育長室

- 1 開 会
- 2 前回議事録の承認
- 3 教育長及び委員の報告
- 4 議 事
議案第27号 令和元年度社会教育功労者・優良社会教育関係団体表彰について (P 2)
- 5 報 告
(1) 令和元年度鹿屋市立看護専門学校専任教員採用試験について (P 5)
(2) 世界とつながるイングリッシュキャンプについて (P 6)
(3) 鹿屋市生涯学習基本構想素案について (P 7)
(4) 令和元年度鹿児島県芸術文化奨励賞受賞(個人の部)について (P 9)
(5) 令和元年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰について (P 11)
(6) 令和元年度人権問題講演会について (P 12)
- 6 動議の討論等
- 7 その他
- 8 閉 会

議案第27号

令和元年度社会教育功労者・優良社会教育関係団体表彰について

鹿屋市教育委員会の行政組織等に関する規則（平成18年鹿屋市教育委員会規則第2号）第10条の規定に基づき、別紙のとおり会議に付議する。

令和元年12月4日提出

鹿屋市教育委員会
教育長 中野 健作

(別 紙)

(提案理由)

令和元年度社会教育功労者・優良社会教育関係団体の表彰を決定したいので、本案を提出するものである。

令和元年度社会教育功劳者・優良社会教育関係団体 表彰者・表彰団体一覧

1 本表彰の趣旨

本市において、多年社会教育に尽力し、特に功劳のあった個人及び団体を表彰し、その功劳に報いるとともに社会教育の一層の振興を図るもの

2 今年度表彰者及び表彰団体

令和元年10月24日に開催された第5回社会教育委員の会議において審議・承認された。

表彰者及び表彰団体は下記のとおり。

【 個人 】 9名 (50音順)

No.	氏名	住所	年齢	活動部門	推薦部署・団体	功劳実績等
1	五十川 貞夫 (いそかわ さだお)			青少年育成	鹿屋市立 寿北 小学校	長年にわたるスクールガードリーダー活動の功績が認められたもの
2	市末 秋美 (いちき あきみ)			青少年育成	鹿屋市立 野里 小学校	長年にわたるスクールガードリーダー活動の功績が認められたもの
3	伊地知 一郎 (いぢち いちろう)			文化財保護	鹿屋市 文化財 センター	長年にわたる文化財保護・普及啓発活動の功績が認められたもの
4	神田 テル子 (かんだ てるこ)			文化振興 (華道)	鹿屋女子 高等学校	長年にわたる華道文化の普及に関する功績が認められたもの
5	黒木 和美 (くろき かずみ)			文化振興 (日本舞踊)	鹿屋市 文化協会	長年にわたる日本舞踊の普及に関する功績が認められたもの
6	長嶺 三郎 (ながみね さぶろう)			生涯スポーツ 振興 (バレーボール)	鹿屋市 体育協会	長年にわたる生涯スポーツの振興に関する功績が認められたもの
7	永吉 徳光 (ながよし のりみつ)			社会教育活動	輝北 コミュニティ センター	地域における生涯学習等の推進に貢献した功績がみとめられたもの
8	松園 タミ子 (まつぞの たみこ)			社会教育活動	高須地区 学習 センター	高齢者の健康増進・生涯学習参加に貢献する活動が認められたもの
9	村上 漸 (むらかみ すずむ)			社会教育活動	花岡地区 公民館	町内会における社会教育活動及び地域活性化が認められたもの

【 団 体 】 4団体 (50 音順)

No.	団 体 名	活動部門	推薦部署・団体	功労実績等
1	王子町鉦踊り ・銭太鼓保存会	青少年育成	鹿屋市 PTA 連絡協議会	伝統芸能保存活動を通じた青少年育成活動が認められたもの
2	鹿屋市サッカー協会	生涯スポーツ 振 興	鹿屋市体育協会	競技を通じて生涯スポーツの普及及び発展に寄与した功績が認められたもの
3	鹿屋市消防団野里分団	青少年育成	鹿 屋 市 中央生活学校	長年にわたり相撲大会を開催し青少年育成に寄与した功績が認められたもの
4	前結びきの和装学苑 大隅支部	文 化 振 興	鹿屋市文化協会	長年にわたる和装文化の発展に寄与した功績が認められたもの

報告 (1) 令和元年度鹿屋市立看護専門学校専任教員採用試験について

【省 略】

報告 (2) 世界とつながるイングリッシュキャンプについて

1 趣 旨

実生活の中で、英語を使ってコミュニケーションを図りながら、英語運用能力を高めるとともに、英語学習への意欲、国際理解について興味・関心を高める。

2 令和元年度実施状況

(1) 実施状況

【第1回】

- ① 日 時 令和元年5月18日(土)～5月19日(日)
- ② 場 所 大隅少年自然の家
- ③ 主な活動 英語レクリエーション、野外スポーツ、クラフト作り
- ④ 参加者数 鹿屋市内の小学生5・6年生38人、中学生9人、高校生2人
計 49人
- ⑤ その他 「もっと英語が好きになった。」「またALTの先生と話したい。」といった感想が寄せられた。

【第2回】

- ① 日 時 令和元年6月29日(土)～6月30日(日)
- ② 場 所 カップクセンター
- ③ 主な活動 ALTや香港留学生との交流、英語レクリエーション、BBQ等
- ④ 参加者数 鹿屋市内の小学生5・6年生37人
- ⑤ その他 「外国の方と英語で話をして通じたのでうれしかった。」「もっと外国の方と話がしたい。」といった感想が寄せられた。

【第3回】

- ① 日 時 令和元年8月10日(土)～8月11日(日)
- ② 場 所 カップクセンター
- ③ 主な活動 カップクセンタースタッフやALT等との交流、スピーチ・プレゼンテーションコンテスト、BBQ
- ④ 参加者数 鹿屋市内の中学生20人、高校生2人 計22人
- ⑤ その他 「英語が通じて嬉しかった。」「プレゼンでは緊張して手が震えたが発表できた。」「もっと外国の方と話しがしたい。」といった感想が寄せられた。

【第4回】

- ① 日 時 令和元年10月19日(土)～10月20日(日)
- ② 場 所 大隅青少年自然の家
- ③ 参加者数 鹿屋市内の小学生5・6年生41人、中学生10人、高校生0人計51人
- ④ 主な活動 英語レクリエーション、シーカヤック、英検対策、クラフトづくり、英語の歌やダンス等
- ⑤ その他 初めてシーカヤックとキャンプファイアを実施。ALTとチーム毎に協力し取り組んでいた。

【第5回】

- ① 日 時 令和元年11月23日(土)～11月24日(日)
- ② 場 所 大隅青少年自然の家
- ③ 参加者数 鹿屋市内の小学生5・6年生33人、中学生10人、高校生0人 計43人
- ④ 主な活動 英語レクリエーション、英検対策、スポーツ、キーホルダーづくり等
- ⑤ その他 アクティビティの説明もオールイングリッシュでALTがすすめたが、参加者は、よく理解し、積極的に活動していた。

報告 (3) 鹿屋市生涯学習基本構想素案について

別紙のとおり

報告 (4) 令和元年度鹿児島県芸術文化奨励賞受賞（個人の部）について

【日 時】 令和元年 11 月 27 日 （鹿児島県庁 5 階特別応接室）

1 受賞者について

田口和行

2 受賞理由

作曲家、音楽プロデューサーとして、現代音楽コンクールで優秀な成績を収めており、鹿児島はもとより国内外のトップクラスの演奏家への楽曲を提供している。作曲家として、「明治維新150年記念式典」や「かごしま文化維新プロジェクトACT」、「国民文化祭」の作曲を手掛けるなど高評価を得ている。近年は作曲・編曲活動だけでなく舞台の音楽監督もしており、活躍の幅が広がっていることから、今後とも一層の活躍が期待される。

3 主な略歴

- ・2001年3月 鹿屋高等学校卒業（鹿児島大学教育学部数学専修中退）
独学で作曲を学ぶ
- ・2009年11月 第26回現音作曲新人賞富樫賞（主催：日本現代音楽協会）
- ・2010年12月 上田希リサイタル「毒っとクラリネット！」
公募選出作品第1位（主催：日本現代音楽協会）
- ・2013年 Dual KOTO×KOTO（箏デュオ）のCD「あまねく」に作品提供
- ・2014年 山本亜美氏（二十五弦箏奏者）のCD「つむぐ」に作品提供
- ・2015年 第30回国民文化祭・かごしま2015にて編曲、音楽監督
- ・2016年 高校生ミュージカル「ヒメとヒコ」音楽監督
- ・2017年 ミュージカル「ヤジロウと海乱鬼」編曲（主催：県文化振興財団）
- ・2018年 「明治150年記念式典」作曲（主催：鹿児島県）
創作市民歌舞劇「西郷どんと大久保どん」音楽担当
- ・2019年6月 かぎん文化財団賞受賞



【近年の主な実績】

年度	内容
2015年	<ul style="list-style-type: none"> ●第30回国民文化祭・かごしま 2015 <ul style="list-style-type: none"> ・「開会式・オープニングフェスティバル」 編曲・オーケストレーション ・ミュージカル「花いくさ」音楽監督 ・「閉会式・グランドフィナーレ」吹奏楽編曲
2016年	<ul style="list-style-type: none"> ●高校生ミュージカル「ヒメとヒコ」音楽監督 ●第16回かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会 「オープニング花火」音楽担当 ●NHK-BS「クラシック倶楽部～打楽器百花繚乱」にて 打楽器作品が演奏される
2017年	<ul style="list-style-type: none"> ●ミュージカル「ヤジロウと海乱鬼」編曲（主催：県文化振興財団） ●ルーマニア国立トウルグ・ムレシュ交響楽団、同国立ディヌ・ リパッティエ交響楽団の演奏会にオーケストレーションで参加 ●かごしま文化維新プロジェクトACT（主催：鹿児島県） <ul style="list-style-type: none"> ・創作舞踊劇「ガジュータ」音楽監督 ・「おおすみACT」編曲
2018年	<ul style="list-style-type: none"> ●「明治150年記念式典」作曲（主催：鹿児島県） ●「第69回日本学校農業クラブ全国大会」吹奏楽編曲 (主催：日本学校農業クラブ連盟) ●かのや明治維新150周年記念事業～創作市民歌舞劇 「西郷どんと大久保どん」音楽担当（主催：鹿屋市教育委員会）
2019年	<ul style="list-style-type: none"> ●「奄美 de アート国際フェスティバル」作曲 ●2019 吹上浜砂の祭典「音と光のファンタジー」音楽担当 ●次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 日本人の演劇人を育てるプロジェクト ～演劇人交流育成公演 in 鹿児島～「この花咲くや姫」 音楽担当（主催：文化庁・日本劇団協議会）（12月公演）

1 活動名 かのや学校応援団串良地域学校支援活動

2 表彰式 12月2日(月) 14:00~16:45

3 場所 文部科学省 東館3階講堂

4 特徴的な取組

- 学校支援ボランティアによる学校支援(学習活動、環境整備、安全確保、学校行事、読書活動など)
- 鹿屋体育大学と連携した学生スポーツボランティアによる体育・保健体育における実技指導(串良小学校・串良中学校)
- 地域の子どもたちを対象とした自学自習の場の確保と体験活動の実施(寺子屋「串良鶴亀塾」)
※写真左
- 読み聞かせサークル「心のしずく」による朝の読み聞かせ(串良小学校)
- 子ども会、町内会、保存会が連携した郷土芸能「棒踊り」の指導 ※写真右



5 効果・成果

- 地域住民や公民館の自主学習グループの方々がボランティアに登録し、今まで以上に地域の子どもに関心をもち、学校支援にも関わっている。
- 学校応援団活動を行うことで、校外でも子どもたちに声をかけられ、ボランティアの方々も喜んでいる。また、顔が見える関係を築くことで、安心・安全の確保につながっている。
- 地域の方が、学校で支援を行うことで、学校をより理解し、学校に協力的な方々が増えてきている。教職員も、学校支援ボランティアの支援により、子どもたちの様子をきめ細かに把握できるようになっている。

6 その他

(1) 令和元年度の受賞

全国で108団体を表彰(鹿児島県では3団体)

- 伊崎田校区青少年育成活動(志布志市)
- 生冠中学校学校運営協議会(いちき串木野市)
- かのや学校応援団串良地域学校支援活動(鹿屋市)

(2) 過去の本市での受賞

- 平成28年度 かのや学校応援団吾平地域学校支援活動
- 平成30年度 かのや学校応援団大始良地域学校支援活動

報告 (6) 令和元年度人権問題講演会について

1 趣 旨

すべての人々の人権が真に尊重される社会の実現を目指し、人権問題に対する正しい理解と認識を一層深め、差別意識の解消を図るとともに、人権にかかわる問題の解決に資する。

また、人権に関する学習活動を推進するために必要な指導者の資質の向上と指導力の強化を図るために、行政職員、社会教育団体の関係者、各種講座関係者、学校関係者等の研修の場とする。

2 主 催 鹿屋市教育委員会

3 日 時 令和元年11月30日(土) 10:00～12:00

4 場 所 鹿屋市文化会館

5 講 師 広岡 智子 氏
演題『地域の見守り支援が防ぐ「子ども虐待」
～怒って泣いて時々笑って子育てを！～』

6 対 象 者 社会教育関係団体会員、学校・PTA 関係者、一般市民

7 参 加 者 594 人

8 内 容

- | | |
|-----------------------|-------------|
| (1) 開場・受付 | 9:30～10:00 |
| (2) 人権ポスター・標語コンクール表彰式 | 10:00～10:15 |
| (3) 開会行事(教育長あいさつ) | 10:20～10:30 |
| (4) 講演会 | 10:30～11:50 |
| (5) 閉会 | 11:50～12:00 |

9 そ の 他

人権ポスター・標語コンクール優秀作品展を、12月10日(火)まで市役所1階市民ホールで実施中



当日は、ロビーにてポスター・標語コンクールの入賞作品の展示を行いました。



ポスター・標語コンクールの特選受賞者13人を表彰しました。



児童虐待問題について専門家の立場からお話をいただきました。